



平成29年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年9月12日

上場会社名 株式会社ティビィシー・スキヤット 上場取引所 東
 コード番号 3974 URL http://www.tbccat.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安田 茂幸
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 古澤 誠一 (TEL) 03 (5623) 9670
 四半期報告書提出予定日 平成29年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年10月期第3四半期の連結業績(平成28年11月1日～平成29年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第3四半期	1,868	△13.7	64	△56.2	44	△73.0	31	△68.6
28年10月期第3四半期	2,165	—	146	—	166	—	99	—

(注) 包括利益 29年10月期第3四半期 31百万円(△68.6%) 28年10月期第3四半期 99百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第3四半期	22.10	—
28年10月期第3四半期	77.77	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年10月期第3四半期	3,134	1,880	60.0
28年10月期	3,022	1,649	54.6

(参考) 自己資本 29年10月期第3四半期 1,880百万円 28年10月期 1,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年10月期	—	0.00	—	—	—
29年10月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年10月期の連結業績予想(平成28年11月1日～平成29年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,567	△10.4	145	△33.4	125	△47.8	87	△38.8	61.88

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年10月期3Q	1,820,000株	28年10月期	1,820,000株
29年10月期3Q	375,024株	28年10月期	545,024株
29年10月期3Q	1,407,980株	28年10月期3Q	1,274,976株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策等により企業業績や雇用環境の改善傾向が続き、緩やかな回復基調となりました。しかし、米国新政権の政策や欧州の政治リスク、北朝鮮問題等依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社の主力事業の美容サロン業界においては、7月以降の夏場に入り大手サロンを中心に売上の回復基調が見られます。(総務省7月家計調査)

このような状況のもと、当社グループ業績は、平成29年5月31日に発表した業績の見通し通り進捗しております。特に、主力となる美容サロン向けICT事業は上半期より進めてきた各種販売促進策の効果により、大型案件を中心に受注が大きく回復してきています。先行指標である当第3四半期末での受注残額は、期首に比して約1.7倍となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高1,868,994千円(前年同四半期比13.7%の減少)、営業利益64,127千円(前年同四半期比56.2%の減少)、経常利益44,990千円(前年同四半期比73.0%の減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益31,111千円(前年同四半期比68.6%の減少)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。なお、セグメント利益は、営業利益に基づいております。

① 美容サロン向けICT事業

美容サロン向けICT事業は、第3四半期に入り滞っていた大口買替案件が順調に受注となり、前期より進めてきた複数の戦略的販売アライアンスの推進効果により、他社ユーザーからの新規大型案件の受注も増加しております。

上半期に苦戦気味だった九州地区も新しい販売パートナー作りなど、各種のテコ入れにより新規受注案件が増加してきています。また、販売パートナー候補となる美容ディーラー向け販売管理システム(i-SCAP/EX)もWEBネットワーク系システムの強化により、当初の予想以上の受注成果を挙げております。なお、納品・売上に関しては、早期導入の顧客要望に対応すべく、他のソフトウェア会社とのアライアンス(外注)も含め、ソフトカスタマイズ対応やキッティング・セットアップに全力を挙げて対応しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は1,051,263千円(前年同四半期比14.7%の減少)、セグメント利益は3,774千円(前年同四半期比95.9%の減少)となりました。

② 中小企業向けビジネスサービス事業

中小企業向けビジネスサービス事業では、不採算事業の撤退により売上規模は縮小したものの、黒字化に転じ、利益は前期より大幅増となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は267,731千円(前年同四半期比29.9%の減少)、セグメント利益は6,458千円(前年同四半期は29,441千円の損失)となりました。

③ 介護サービス事業

介護サービス事業では、介護付き有料老人ホームを3施設(栃木県佐野市、群馬県館林市、長野県小諸市)を運営しております。特に、各施設の入居率向上に取り組んだ結果、第3四半期累計期間の平均稼働率が92%超まで回復し、安定収益の確保に努めておりますが、施設の光熱費や看護師等の人員配置に係る費用が増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は534,924千円(前年同四半期比0.3%の減少)、セグメント利益は42,450千円(前年同四半期比41.5%の減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ123,186千円増加し、1,531,817千円となりました。これは主として、現金及び預金の増加111,757千円、繰延税金資産の減少12,367千円、商品の減少5,286千円、売掛金の減少4,935千円によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ11,531千円減少し、1,602,467千円となりました。これは主として、建物及び構築物の減価償却累計額の増加25,207千円、繰延税金資産の増加13,516千円によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ90,823千円減少し、363,715千円となりました。これは主として、未払費用の減少76,218千円、未払法人税等の減少63,505千円、賞与引当金の増加31,710千円によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ28,467千円減少し、890,122千円となりました。これは主として、長期借入金の減少56,394千円、退職給付に係る負債の増加11,842千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ230,946千円増加し、1,880,447千円となりました。これは主として、新規上場に伴う自己株式の処分による資本剰余金の増加133,960千円、自己株式の減少85,000千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月31日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,101,646	1,213,404
売掛金	221,155	216,220
商品	24,722	19,435
仕掛品	7,236	2,248
繰延税金資産	31,926	19,559
その他	22,283	61,267
貸倒引当金	△340	△318
流動資産合計	1,408,630	1,531,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,831,626	1,849,555
減価償却累計額	△904,268	△929,476
建物及び構築物(純額)	927,357	920,078
土地	342,737	342,737
その他	146,405	152,379
減価償却累計額	△123,304	△125,378
その他(純額)	23,101	27,001
有形固定資産合計	1,293,196	1,289,817
無形固定資産		
ソフトウェア	148,357	141,176
その他	29,996	15,729
無形固定資産合計	178,354	156,905
投資その他の資産		
繰延税金資産	88,554	102,070
その他	71,370	70,962
貸倒引当金	△17,476	△17,288
投資その他の資産合計	142,448	155,744
固定資産合計	1,613,998	1,602,467
資産合計	3,022,629	3,134,284

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,852	53,909
1年内返済予定の長期借入金	75,192	75,192
未払費用	181,500	105,282
賞与引当金	—	31,710
未払法人税等	65,610	2,105
その他	70,382	95,516
流動負債合計	454,538	363,715
固定負債		
長期借入金	530,371	473,977
退職給付に係る負債	291,375	303,218
役員退職慰労引当金	70,306	77,020
その他	26,536	35,906
固定負債合計	918,590	890,122
負債合計	1,373,129	1,253,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
資本剰余金	143,198	277,158
利益剰余金	1,578,813	1,590,800
自己株式	△272,512	△187,512
株主資本合計	1,649,500	1,880,447
純資産合計	1,649,500	1,880,447
負債純資産合計	3,022,629	3,134,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
売上高	2,165,078	1,868,994
売上原価	1,343,420	1,133,680
売上総利益	821,657	735,313
販売費及び一般管理費	675,113	671,186
営業利益	146,544	64,127
営業外収益		
受取利息	76	6
受取配当金	10	6
保険解約返戻金	22,125	70
施設利用料	1,319	1,468
その他	1,215	1,896
営業外収益合計	24,747	3,448
営業外費用		
支払利息	4,515	3,965
支払手数料	—	17,997
その他	104	622
営業外費用合計	4,619	22,585
経常利益	166,672	44,990
特別損失		
減損損失	—	576
固定資産除却損	432	0
特別損失合計	432	576
税金等調整前四半期純利益	166,239	44,414
法人税、住民税及び事業税	53,075	14,450
法人税等調整額	14,003	△1,148
法人税等合計	67,079	13,302
四半期純利益	99,160	31,111
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	99,160	31,111

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
四半期純利益	99,160	31,111
四半期包括利益	99,160	31,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,160	31,111

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年1月28日 定時株主総会	普通株式	12,749	40	平成27年10月31日	平成28年1月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年1月30日 定時株主総会	普通株式	19,124	15	平成28年10月31日	平成29年1月31日	利益剰余金

(注) 平成28年7月21日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成28年12月26日を払込期日とする公募による自己株式140,000株の処分を行いました。また、平成29年1月20日を払込期日とするオーバーアロットメント方式による売り出しに伴う自己株式30,000株の処分を行ったことにより、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が133,960千円増加し、自己株式が85,000千円減少いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が277,158千円、自己株式が187,512千円となっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	美容サロン向け ICT事業	中小企業向け ビジネス サービス事業	介護サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,231,775	382,109	536,556	2,150,442	14,636	2,165,078
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	2,520	2,520
計	1,231,775	382,109	536,556	2,150,442	17,156	2,167,598
セグメント利益又は損失(△)	92,998	△29,441	72,599	136,156	10,368	146,524

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	136,156
「その他」の区分の利益	10,368
セグメント間取引消去	20
四半期連結損益計算書の営業利益	146,544

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	美容サロン向け ICT事業	中小企業向け ビジネス サービス事業	介護サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,051,263	267,277	534,924	1,853,466	15,528	1,868,994
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	453	—	453	2,520	2,973
計	1,051,263	267,731	534,924	1,853,919	18,048	1,871,967
セグメント利益	3,774	6,458	42,450	52,683	11,417	64,101

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	52,683
「その他」の区分の利益	11,417
セグメント間取引消去	26
四半期連結損益計算書の営業利益	64,127

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに帰属しない電話加入権の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において576千円であります。